

災害対策委員 News とは

市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）の皆様は、防災に関する情報をこの News で定期的にお届けいたします。

災害対策委員 News vol.9

被災地から学ぶ
地震への備え

—— 能登半島地震への支援 ——

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興のために、全力で支援してまいります。

《令和6年能登半島地震》

【発生日時】

令和6年1月1日16時10分頃

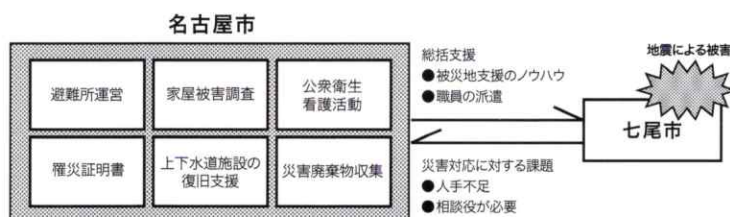
【震源及び規模】

場所：石川県能登地方

規模：マグニチュード7.6(暫定値)



東日本大震災において、名古屋市が陸前高田市に対し「行政まごとの支援」を行ったことをうけ、総務省が平成30年から被災地へ職員を派遣する仕組みを構築しました。この仕組みは、原則として被災市区町村ごとに支援する自治体を1対1で割り当て職員を派遣するものです。今回は、名古屋市が石川県七尾市に対し、下図のような様々な支援のために職員を派遣しています。



能登半島地震の被災地支援

港区役所総務課 本郷 宏樹

△派遣期間 1月15日～21日△



避難所となっていた石崎小学校で避難所運営支援を担当しました。就寝のために夜間のみ避難所を利用される方の受付や、避難所周辺の巡回や警備を行いました。石崎小学校が位置する地域では発災直後から近所同士の声掛けが行われ、津波から逃れるために標高の高いお寺に避難されたそうです。住宅街では倒壊している建物も見られました。被災されて避難生活を余儀なくされている方からは「家屋が倒壊し被害状況も分からないから、遠方地への避難は不安」といった声が上がっていました。避難所では住宅地図を広げ1戸ずつ安否確認をしていました。日頃から近所の付き合いがあったことで、スムーズに確認が行われて、顔の見える関係を築くことが重要であると感じました。

西区役所総務課 横井 晃

△派遣期間 1月15日～21日△



私は避難所で被災自治体である七尾市職員、応援のさいたま市職員とともに運営支援を担当しました。避難者の多くが高齢者であり、健康面に不安を抱えている方が多くいました。しかしながら、多少不調があっても、遠慮してそれを伝えることが難しいという声が聞かれたため、こちらからこまめに声をかけ、その会話から健康状態を観察するよう心掛けました。また、いくつか避難所を回り、避難所運営は必ずしも決まった形に沿う必要はなく、避難所ごとに運営方法が異なることを体感しました。マニュアルを眺めて「こうしなければいけない」と思わず、避難所により状況が異なるため、避難所ごとにやりやすい方法を探っていくことが重要だと思っています。



自分自身の備えを万全に！地域の防災リーダーとして周囲の方への啓発を！

訓練や話し合いを地域で行い、地震への備えについて考えよう！

地震に備えて、できることは？

地震の揺れに備える

家具の固定

L型金具、ツッパリ棒など

ガラスの飛散防止

窓ガラスやガラス戸への飛散防止フィルム貼り

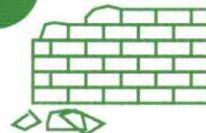
屋内



危険な場所の回避

事前避難対象地域や土砂災害が起きそうな場所、ブロック塀やガラスが多い場所に近づかない

屋外



避難生活に備える

水・食糧・日用品などの備蓄

家族の人数などに応じて1週間を目安に(マスクや消毒液、常備薬などもあると◎)



家族との安否確認方法の確認

災害用伝言ダイヤル171
災害用伝言板サービス等



避難先・避難経路の確認

避難先(知人・親類宅、指定避難所等)と避難経路の事前確認



地震火災に備える

感震ブレーカーの設置

地震を感じし、自動的にブレーカーを落とす「感震ブレーカー」で通電火災防止



その他

正確な情報の入手
悪質なデマには注意



地域での共助

隣近所との連絡・助け合いに関する確認



名古屋市防災危機管理局からのお知らせ

防災講演会(南海トラフ地震への備え)

三重大学の川口教授をお迎えし「南海トラフ地震への備え」について講演いただき、「地域防災について考えよう」というテーマで俳優のいとうまい子さん南区星崎学区の各務区政協力委員長を交えてトークセッションを行いました。地域防災活動に役立つ内容が満載でしたのでぜひご覧ください。



<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/000157773.html>

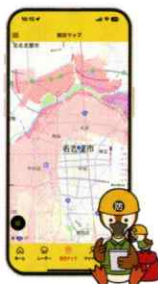
過去に開催した地域の防災リーダー向け防災講演会のアーカイブを視聴することができます。



名古屋市防災アプリをより使いやすくリニューアル 今すぐダウンロードして、災害に備えましょう！

主な機能

- 1 緊急の防災情報がプッシュ通知で届く！
- 2 知りたい場所の災害リスクがすぐ分かる！
- 3 自分の避難計画を作成できる！
- 4 クイズやアニメで防災を楽しく学べる！



現在お使いいただいている名古屋市防災アプリは、3月31日でサポートを終了します。



iOS



Android



名古屋市防災アプリ

第4回 そなえ・まいの「ナゴヤの防災！はじめよまい！」

はいー！私は、防災アイドルの「そなえ・まい」だよ！今回は～名古屋市と陸前高田市のつながり～について紹介するよ！

名古屋市防災広報アンバサダー
「そなえ・まい」



制作：名古屋工学院専門学校

3月23日は『絆の日』

本市では、毎年3月23日を『絆の日』として定め、名古屋市と陸前高田市の友好関係について、広く知ってもらう取組みを進めています。東日本大震災以降、名古屋市は、岩手県陸前高田市への支援・交流を続けており、震災から10年となる令和3年3月23日に、陸前高田市から贈られた「奇跡の一本松」の後継樹が、東山動植物園に植えられたことなどを契機に、絆の日が定められました。今年の3月23日には、「3.23絆の日記念交流イベント」を、東山動植物園にて行う予定です。ぜひ会場までお越しください。

奇跡の一本松

